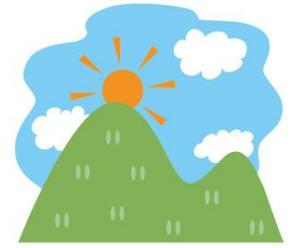


# 甲州街道を歩こう！～駒飼宿～



大和町を通っている五街道のうちの一つ 甲州街道 駒飼宿 を歩いてみませんか？

私たち大和小学校6年生は、大和町日影地区の駒飼宿について学習をしました。当時、駒飼宿は甲州街道最大の難所といわれた笹子峠麓のにぎやかな宿場町として知られていたそうです。

その中から紹介したいところをまとめましたので、ぜひご覧ください。



## みずほ地蔵

咳を止めてくれる という  
言い伝えがあり、昔の人は  
お地蔵さんの石を削り、粉  
にして薬にしたそうです。



なんと、その粉の薬を飲むと  
咳が治ったそうです！



今でも大和地区の方々に大切にされています

## 御鷹木坂（ごがんぎざか）

この御鷹木坂には、妖怪が出て旅人を困らせたという昔話があります。旅人は妖怪を退治しようとしたが、松の木に吊るさってしまったそうです。そして、住民が殺してしまうと思ったとき、お坊さんが供養したという話があります。



現在坂の上には、松の木の切り株が残っています。



## 本陣・脇本陣

本陣は、明治13年6月19日 天皇が御巡幸のときに休まれたところ江戸時代に大名、公家、幕吏など貴人が宿泊し休んだ場所。

脇本陣は、江戸時代に偉い人の家来脇役が宿泊するための場所。



## 千手観音

駒飼宿は、甲州道中最大の難所として知られており、旅人を困らせたことがたくさんありました。

そこで、旅人たちは『安全に帰って来られるように』とここで祈っていたそうです。



## 叶岡地蔵尊

叶屋さんの敷地内に石の地蔵尊が祀られています。

生活の中で困ったこと、悩みごとなどの願いを念じつつ、地蔵様を持ち上げます。軽く感じると願いが叶い、重く感じると願いが叶うのは難しいそうです。



願いが叶う!?



ぜひ、みなさんもためしてみてください！



うらへ

## 松尾芭蕉句碑

天狗沢にあった大きな石を削って作った句碑です。明治40年の水害で流出したため新しく建て直してあります。

### 「秣負う 人を菜の 夏野哉」

広い野山では、馬に与える草(秣)を背負ってる人を道すべに頼って歩けば、迷うことなく行けるだろうという意味です。



## 天神社

峠の広場に祀ってあります。天満自在天神また火雷天神とされています。

峠を往来する人や馬の害から守り、無事に旅ができるように願うため江戸時代から祠があったそうです。



## 屋号が多く残る大和

屋号とは、駒飼宿の昔の家ごとによる呼び名です。昔はそれぞれの店を営み、名字のように呼んでいたそうです。今でも多くの屋号が残っており、当時の屋号で呼び合っているところもあるそうです。

ここが旧甲州街道の入り口です



## 日影諏訪神社 (日影の宮)

鳥居は、天狗沢にあった大きな石を削って作ったそうです。

天狗沢から日影諏訪神社までどのようにして運んだのか... 不思議です。



## 鶴瀬関所跡

- ・鶴瀬には、旅人の出入りや荷物を調べる役所がありました。
- ・甲州十二関所のひとつで「鶴瀬の口留番所」と言います。



## 常夜燈

- ・「石尊宮」参道入り口に完成した照明器具です。
- ・200年前に宿場の中程に建てられたものです。



※駒飼宿から次の宿場である鶴瀬宿までは約800m程である。

## 養真寺

養真寺には過去、現在、未来も未長く続く平和の世界であってほしいと願う萬霊塔(ばんれいとう)があります。

駒飼宿の参道にもあるこれらは旅の途中に行き倒れた旅人たちを供養したりしていたそうです。



私たちの住む大和町には、自然や歴史などたくさんの魅力があります。多くの方々に大和町を訪れ、魅力を感じていただくために、今回は甲州街道駒飼宿について学習したことをまとめました。

ぜひ、このチラシを見ながら甲州街道駒飼宿を歩いてみてください。また、お知り合いの方にも大和町のすばらしさをどんどん広げていただけたらうれしいです。

自然豊かで歴史あふれる大和の町がこれからもずっと続いていきますように...

令和5年度 大和小学校 6年生一同



大和小 HP

